

学校教育目標 **ともに生き、自分を生かす力を育てる** めざす児童像 **ともに挑む子（ともに認め合う子・ともに伸びる子・ともに支え合う子）**

< \*採点 4…できた 3…ややできた 2…ややできなかった 1…できなかった >

項目	No.	実践目標	採点平均	来年度に活かす点
一 ともに挑む学級・学校づくり	1	学習や生活に見通しと振り返りを位置づけ、子ども同士で互いのめあてや努力を共有させる。	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の振り返り活動の充実を図る。(時間の確保・観点を提示しておく)</li> <li>次の授業へのつながりを意識させるため、振り返り活動を効果的に学習に生かしていく。(前時の振り返りを紹介するなど)</li> <li>振り返りはワークシートに「書く」だけでなく、「言葉で伝える」など授業内容に応じて変えていく。</li> </ul>
	2	人権教育や特別支援教育の視点を大切にして、子どもの気持ちや困り感に寄り添う。	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の人権意識を高めることができるよう、啓発朝会後は、道徳の授業で人権教材を用い、授業づくりを展開する。</li> <li>啓発活動後の各クラスの感想は、回覧する。</li> <li>朝会を有効的に活用し、様々な担当の教員から児童の心に響く話をしていく。</li> </ul>
	3	子どもと触れ合う(一緒に遊ぶ、話を聞く)時間を確保する。	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝は、校門または教室で児童を迎えるようにし、出会いの時間を大切にする。</li> <li>みんな遊びを木曜日とする。</li> </ul>

< **二** **高め合う授業づくり** >

項目	No.	実践目標	採点平均	来年度に活かす点
二 高め合う授業づくり	1	「見通す・解決する・活かす・振り返る」の過程を通して、子どもにとって主体的な学習を進める。	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>南小学びのスタイルを継続する。→「活かす」は、単元を通して効果的な所で設定。 例)理解が難しい内容、発展学習</li> <li>児童が主体的に学べる工夫→話し合い活動、一人学びの場の保障</li> </ul>
	2	子ども同士の関わり合いを大切にして、課題や疑問を解決し合う場を仕組む。	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合い活動 →どの場面で話し合うか、何を話し合わせるか。 教材研究時や事前研で検討して行う。 →話型、話す・聞く、話し合いのガイドの作成 ※下記参照</li> </ul>
	3	ペア・グループ交流を中心として、言語活動の内容や方法を充実させる。	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業研究会のなかで検証する。 →言語活動の充実に関する手立てを指導案に明記。</li> <li>話す聞く・話し合いのガイドについて →国語の「話す・聞く」単元を活用して、系統だてて実践する。</li> </ul>

< **三** **自主的、自立的な態度の育成** >

項目	No.	実践目標	採点平均	来年度に活かす点
三 自主的 自立的な態度の育成	1	自分たちの願いが実現するまでの手順をつかませるとともに、児童会の計画性と発信力を育てる。	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事の精選。各委員会の創造的活動と連携して南っ子カップなどの児童会主催のイベントを整理し、児童会役員の負担を減らす。</li> <li>代表委員会の中で、「学校全体の問題」などについて話し合っていく。</li> </ul>
	2	「外遊び、掃除、挨拶、整頓」と「年間体力作り」により、学校に規律と勢いを生む。	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつ運動や啓発運動の実施。</li> <li>外発的動機づけから始める。(あいさつの花運動) (案)①10人以上に挨拶をする。②担任からシールをもらう。 ③あいさつの木にもらったシールを貼る。</li> </ul>
	3	「家庭学習の手引き」の活用や自主学習の推進により、自学力を育てる。	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の隙間時間用に自学ノートを使用する。</li> <li>来年度も家庭学習の手引きを学期ごとに配布し、学級懇談で周知する。</li> <li>ノート名人の取組も引き続き行っていく。</li> </ul>

< **四** 気持ちの良い安全、安心の環境づくり >

項目	No.	実践目標	採点平均	来年度に活かす点
四 気持ちのよい安全 安心の環境づくり	1	研究の進展と子どもたちの学習・生活意欲向上につながる継続的でタイムリーな掲示を工夫する。	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に年間の計画を立てる際、掲示物のことも考えてたてる。校内掲示は月ごとに細かく計画をしておく。</li> <li>・担当より声をかける。</li> <li>・学習の足あとが分かる掲示を心がける。</li> </ul>
	2	安全点検を確実に行うとともに、常に危機意識を持って、子どもの安全に気を配り、迅速に対応する。	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して複数名で安全点検を行う。</li> <li>・「何かある」という目で点検していく。</li> <li>・普段気づいたことは、管理職や担当に報告し、早く補修できるようにする。</li> </ul>
	3	掃除と整頓が行き届いた、心が安らぐ花いっぱいの学校にする。	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級園の計画も含めて年間計画を立て、何かが植えてあるようにする。</li> <li>・引き続き、掃除場所を回り、声かけをしていく。</li> <li>・児童が自身で片づけをしやすいように、物を置く場所を固定し、分かりやすくする。また、公共の場所だということが意識できるようにしていく。</li> </ul>

< **五** 地域に根ざした特色ある学校づくり >

項目	No.	実践目標	採点平均	来年度に活かす点
五 地域に根ざした特色ある学校づくり	1	ホームページや学校便り、学級便り等を通して、保護者や地域に情報発信を積極的に行う。	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の様子やクラスの様子を定期的におたより等で引き続き発信していく。</li> <li>・おたよりは、点検をしてもらう。</li> </ul>
	2	ふれあい体験やクラブ等で地域との交流を大切に、子ども自身に感謝の気持ちを伝えさせる。	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方、異世代の交流を大切にしていく。</li> <li>・竹とんぼを継続して続けるのであれば、竹とんぼのチューターさんの確認と竹の確保をしておく。</li> </ul>
	3	地域の方々や学校に来られたお客様に、子ども自らあいさつができるようにする。	2.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶の大切さを朝会や学級で定期的に指導する。</li> <li>・家庭にも啓発し、「気持ち良い、挨拶のできる南っ子」を共に育てていく。</li> </ul>

< **六** 連動する組織づくり >

項目	No.	実践目標	採点平均	来年度に活かす点
六 連動する組織づくり	1	小中学校統一の学習規律の策定や相互の授業参観を進め、学校間の学びのつながりを促進する。	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めに教職員での話型（聞き方・話型）の周知、活用の共通理解を図る。</li> <li>・教科担当を中心に中学校との授業参観や指導の交流を図っていく。</li> </ul>
	2	学年層ミーティングや必要に応じた対策会議により児童理解を共有し、チームで対応する。	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き学年層ミーティングを中心に、情報交換を行い職員での共通理解を図る。</li> <li>・学年層ミーティングなどで話題に上がった児童の経過を報告する。</li> <li>・チーム・学校全体での対応の継続。</li> </ul>
	3	実践力を向上し児童理解を深めるために、「研究の設計図」等で発信し合い活かす合う研修を進める。	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期末に1回プランニングシートをもとにして実践の交流を行う。 (うまくいった取り組みや困っていることなど)</li> </ul>

## 平成30年度 滝野南小学校 関係者(学校評議員5名)評価結果

### 1 教育目標（「ともに生き、自分を生かす力を育てる」）達成のための重点

#### (1) とともに挑む学級・学校づくり

- ① 学習や生活に見通しと振り返りを位置づけ、子ども同士で互いのめあてや努力を共有させる。
- ② 人権教育や特別支援教育の視点を大切にして、子どもの気持ちや困り感に寄り添う。
- ③ 子どもと触れ合う(一緒に遊ぶ、話を聞く)時間を確保する。

評定4 非常に良い①	評定3 良い④	評定2 課題がある	評定1 要改善
---------------	------------	--------------	------------

#### (2) 高め合う授業づくり

- ① 「見通す・解決する・活かす・振り返る」の過程を通して、子どもにとって主体的な学習を進める。
- ② 子ども同士の関わり合いを大切にして、課題や疑問を解決し合う場を仕組む。
- ③ ペア・グループ交流を中心として、言語活動の内容や方法を充実させる。

評定4 非常に良い	評定3 良い⑤	評定2 課題がある	評定1 要改善
--------------	------------	--------------	------------

#### (3) 自主的・自立的な態度の育成

- ① 自分たちの願いが実現するまでの手順をつかませるとともに、児童会の計画性と発信力を育てる。
- ② 「外遊び、掃除、挨拶、整頓」と「年間体力作り」により、学校に規律と勢いを生む。
- ③ 「家庭学習の手引き」の活用や自主学習の推進により、自学力を育てる。

評定4 非常に良い	評定3 良い④	評定2 課題がある①	評定1 要改善
--------------	------------	---------------	------------

#### (4) 気持ちのよい、安全安心の環境づくり

- ① 研究の進展と子どもたちの学習・生活意欲向上につながる継続的でタイムリーな掲示を工夫する。
- ② 安全点検を確実にを行うとともに、常に危機意識を持って、子どもの安全に気を配り、迅速に対応する。
- ③ 掃除と整頓が行き届いた、心が安らぐ花いっぱい学校にする。

評定4 非常に良い①	評定3 良い④	評定2 課題がある	評定1 要改善
---------------	------------	--------------	------------

#### (5) 地域に根ざし開かれた特色ある学校づくり

- ① ホームページや学校便り、学級便り等を通して、保護者や地域に情報発信を積極的に行う。
- ② ふれあい体験やクラブ等で地域との交流を大切にし、子ども自身に感謝の気持ちを伝えさせる。
- ③ 地域の方々や学校に来られたお客様に、子ども自らあいさつができるようにする。

評定4 非常に良い③	評定3 良い②	評定2 課題がある	評定1 要改善
---------------	------------	--------------	------------

#### (6) 連動する組織づくり

- ① 小中学校統一の学習規律の策定や相互の授業参観を進め、学校間の学びのつながりを促進する。
- ② 学年層ミーティングや必要に応じた対策会議により児童理解を共有し、チームで対応する。
- ③ 実践力を向上し児童理解を深めるために、「研究の設計図」等で発信し合い活かし合う研修を進める。

評定4 非常に良い	評定3 良い⑤	評定2 課題がある	評定1 要改善
--------------	------------	--------------	------------

次年度に向けて、学校運営についてご意見をお願いいたします。

- ・配慮の行き届いた運営をされていると思います。
- ・次年度も今年度同様に学校運営よろしくお願ひします。
- ・先生方の評価が厳しいのか昨年と比べ評価が下がっている。いろいろとたいへんだと思うが、小中一貫校に向け、小中の連携やいろいろな面での系統性にも取組をされていると思います。わたしたちのできることは、協力させてもらいます。ありがとうございました。
- ・この学校評議員もそうですが、役につかなければ知らなかったことがたくさんありました。先生方が子どもたちのために取り組んでくださっている内容を各家庭にもっと周知させてはどうでしょうか。家庭環境が子どもたちにかかりの影響を与えていると思いますが、先生方の努力が実ることを願っております。